

1 目的

大津町耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、大津町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、大津町耐震改修促進計画第6章建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための施策に基づき策定する。

3 令和7年度の計画

取組内容	財政的支援	
	耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された住宅について、耐震改修設計、耐震改修工事、建替え工事、耐震シェルター工事、設計改修工事一括、建替え設計工事一括を行う住宅所有者等に対して補助を行う。	
取組内容	普及啓発等	
	① 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 - 令和7年度は戸建て木造住宅所有者にダイレクトメールを送付（啓発チラシを同封） ② 耐震診断実施者に対する耐震化促進 - 令和7年度は、令和6年度までに耐震診断実施後、耐震改修を行っていない住宅所有者にダイレクトメールを送付（①共通取組み） ③ 改修事業者の技術力向上等 - 県や関係機関と連携した耐震改修に関する技術講習会を年1回以上実施 - 工事業者情報を容易に取得できるよう、町HPにリフォーム評価ナビ等、国交省補助事業採択サイトのアドレスを記載 ④ 一般への周知普及 - 広報誌を活用し、補助事業の周知を実施 - 防災イベント等において補助事業のブース展示を実施 - 補助事業に関するリーフレット等の作成・配布	
目標	- 耐震診断実施：20戸 - 設計改修工事一括補助：4戸 - 建替え設計工事一括補助：1戸	- 耐震改修設計：1戸 - 耐震改修工事費補助：1戸 - 耐震シェルター工事補助：1戸

4 前年度（令和6年度）実績・自己評価

実績	財政的支援	
	・耐震診断実施：15戸 ・耐震改修設計費補助：0戸 ・耐震改修工事費補助：0戸	・設計改修工事一括補助：3戸 ・建替え設計工事一括補助：1戸 ・耐震シェルター工事補助：0戸
	普及啓発等	
	・広報誌に補助事業の内容を掲載し周知を実施 ・防災イベント等において耐震改修に係るパネルの設置を行った ・耐震診断実施後、耐震改修を行っていない住宅所有者に個別に説明を実施 ・戸建て木造住宅の所有者、3729戸にダイレクトメールを送付	
自己評価	課題	
	・令和6年度は、ダイレクトメールの送付を行ったことにより、前年度と比較すると耐震診断の申込み件数が増えた。しかし、耐震診断後の改修工事実施割合は15件中3件であったため、今年度は、昨年度の耐震診断の結果をもとに、その後の改修工事への展開について、丁寧に説明を行い、改修工事実施に結び付けていく必要がある。	
	改善策	
	・防災イベントを活用した啓発チラシの配布及び相談会等を実施する。 ・耐震診断を実施したが、耐震改修を行っていない所有者への電話連絡等の個別の案内を実施する。	